

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	神奈川工科大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カナガワコウカダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	短期インターンシップ
	学部・研究科等名	工学研究科
	担当教職員名・役職	永谷秀俊・教務課長
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	2
	受入企業等数	2
	受入企業等名	株式会社メディアグローバルリンクス株式会社アイメス
	インターンシップの分類	7.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	産業界での工学の活用状況を知り、大学院での研究・学習の方向付けを目標とする。また、社会人になるための準備に役立てることを目標とする。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次、2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	社会人としてのマナーやモラルを身につける。また、社会人としての意識、自主性、創造性、コミュニケーション能力を身につける。説得力のあるレポート作成能力やプレゼンテーション技術を身につける。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ期間中に学生と教職員が相互に連絡をとり学生を支援している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	科目概要と企業実習、業界研究について学修する。インターンシップにむけてマナー講座・エントリーシートや履歴書の作成方法を学ぶ。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後学修として、企業訪問の報告書の作成と提出、成果発表会の準備(パワーポイント制作、リハーサル等)及び成果発表会での発表。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施後、成果発表会を開催し学生が企業の方や教職員の前で学修したことを発表する。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している,2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している,3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップを修了するためには、必ず全ての授業を受講しなければならない(シラバス参照)。
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい

要素⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学の担当者と企業の方とで事前に打合せを行い、今問題となっている案件を課題として設定し、学生間でグループワークにて解決している。また、導いた結論を発表している。企業の取り組みや内容を知ることができる。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://kw.kait.jp/syllabus/syllabus.asp?wintNendo=2016&wstrGak=3&wstrGkb=20&wstrSzk=1M
問い合わせ先	大学等名	神奈川工科大学
	担当部署名	学生支援本部教務課
	担当者役職名	教務課長
	担当者氏名	永谷秀俊
	電話番号	046-241-1213
	メールアドレス	kyoumu@kait.jp